



公益財団法人 国際交通安全学会  
International Association of Traffic and Safety Sciences

2025年度研究調査内部報告会  
2026年4月10日（金）

**2502A**

# **ジュニアシート使用率向上に向けた、 交通安全情報発信の在り方の研究**

プロジェクトリーダー  
岩貞るみこ  
モータージャーナリスト

## プロジェクトメンバー

### 【IATSS会員】

神田直弥	東北公益文科大学教授
田久保宣晃	ITARDA研究部次長兼研究第一課長
中井宏	大阪大学大学院人間科学研究科准教授
中川由賀	中京大学法学部教授
森本章倫	早稲田大学理工学術院創造理工学部社会環境工学科教授

### 【IATSS会員以外】

伊藤友弥	あいち小児保健医療総合センター救命救急センター医局長
谷口綾子	筑波大学 システム情報系社会工学域教授
丹野祥孝	JAF交通環境部調査研究課課長
廣瀬翔	JAF交通環境部調査研究課主管
菱川豊裕	ITARDA研究部研究第一課研究員

### 【オブザーバ】

緒方友幸	警察庁交通企画課	警察庁交通企画課
奥村敦	警察庁交通企画課	警察庁交通企画課
村松朝生	内閣府政策統括官（共生・共助担当）	
毛利成吾	内閣府政策統括官（共生・共助担当）	
宮木由貴子	第一生命経済研究所首席研究員	



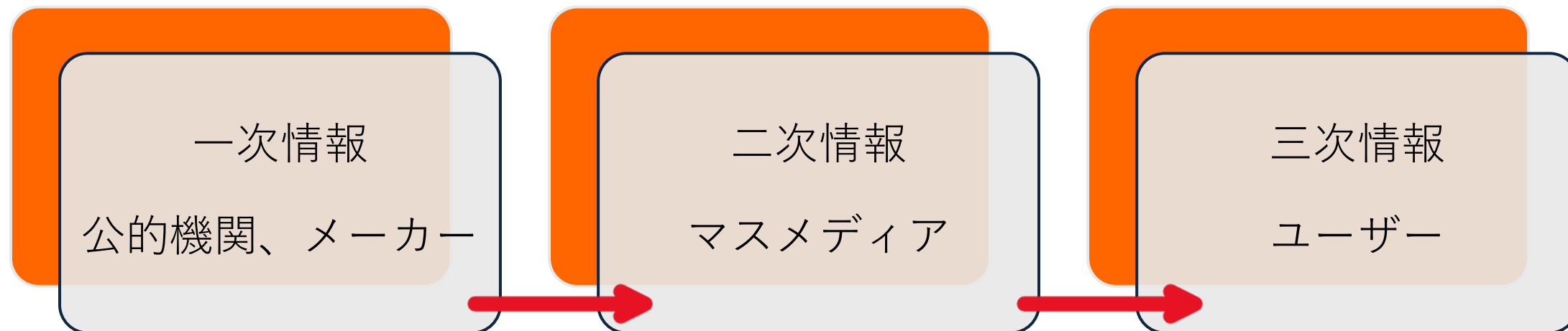
# 交通事故発生状況

- 2025年 死者数 2,547人 負傷者数 338,294人  
\* 前年より減ってはいるが、下げ止まり傾向

これまでの対策が、持続的に効いている一方で、モビリティの多様化で、新しい事故形態も増えている。

自転車、電動キックボードをはじめ、  
**正しく利用するためのルールが届いていないのではないか？**

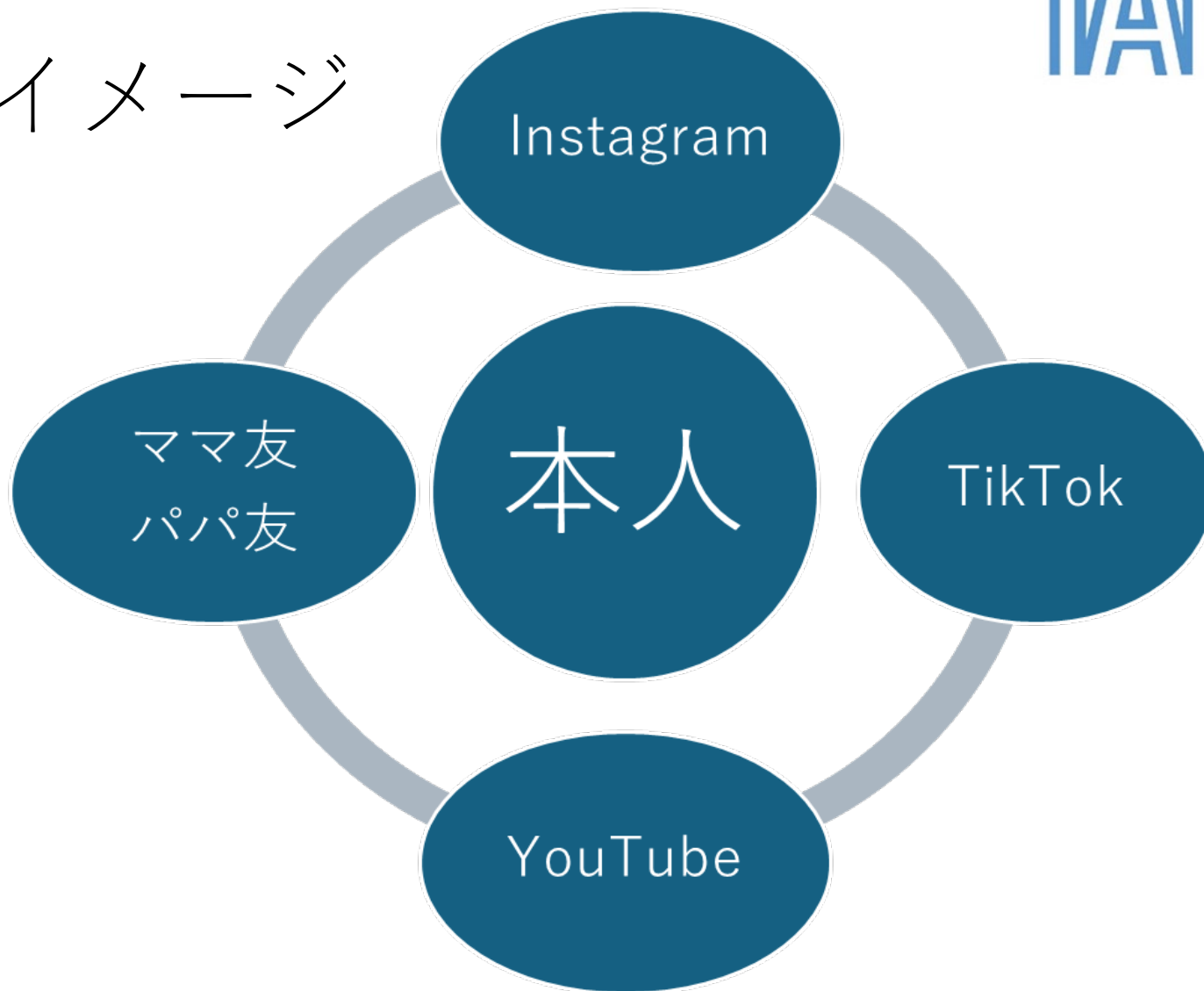
# これまでの情報伝達イメージ



# 現在の情報伝達イメージ

一次情報  
公的機関、メーカー

二次情報  
マスメディア



- 2024年8月 夏休み
- 母親の運転する軽自動車が対向車線にはみ出し、走行中の路線バスと正面衝突。
- シートベルトをしていた母親は、脚部等の怪我。
- 後席にいた、7歳と5歳の姉妹が死亡。
- 姉妹には、チャイルドシートではなく、  
シートベルトが使用されていた。

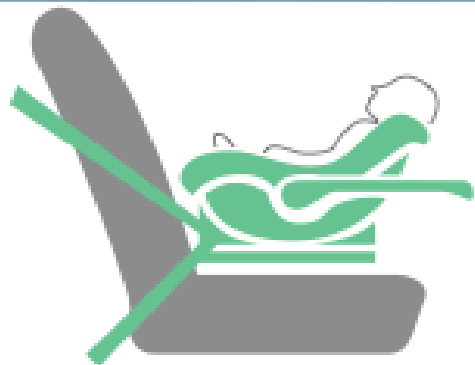
# チャイルドシートの種類



## 乳児用シート (ベビーシート)

生後15か月まで車の進行方向  
に対し後ろ向きで使用

**15か月以降もできるだけ後ろ  
向きでの使用が望ましい**



国土交通省HPより

## 幼児用チャイルドシート (チャイルドシート)

生後15か月かつ身長76cmを超え  
てから身長105cmまで、車の進  
行方向に対し前向きで使用



## 学童用シート (ジュニアシート)

身長100cmから150cmまで使  
用。子どもとジュニアシート  
を車の3点式シートベルトで  
一緒に固定して使用する



# チャイルドシートに関する道路交通法

## 6歳未満に、使用義務

\* 6歳の平均身長は、116.7cm（男子）115.8cm（女子）

\* 150cmを超えるのは、男女ともに12歳。

（2024年度学校保健統計より）

### 自動車工業会

「車両の衝突安全実験は、身長約150cmのダミーを使用  
150cm以下は、安全性が確認できていない」

→ **6歳以上の小児には、ジュニアシートを推奨**



福岡の事故のケース  
なぜ母親は、7歳の姉にもシートベルトを着用させたのか。

**シートベルトさえすれば安全である**  
と誤解していたのではないか？

**安全に関する情報が、**  
**正しく届いていないのでは？**

インターネットによるアンケート全国調査を実施  
実施日：2025年6月12日~13日

小学生以下の子どもを持つ保護者 **10000**人  
子どもを持たない人 **3000**人

## チャイルドシートに関する調査項目

- 免許の有無、自家用車の有無、運転頻度
- 年収、職業
- チャイルドシート／ジュニアシートの使用の有無
- 使用、未使用の理由
- どうすれば使用するか、など。



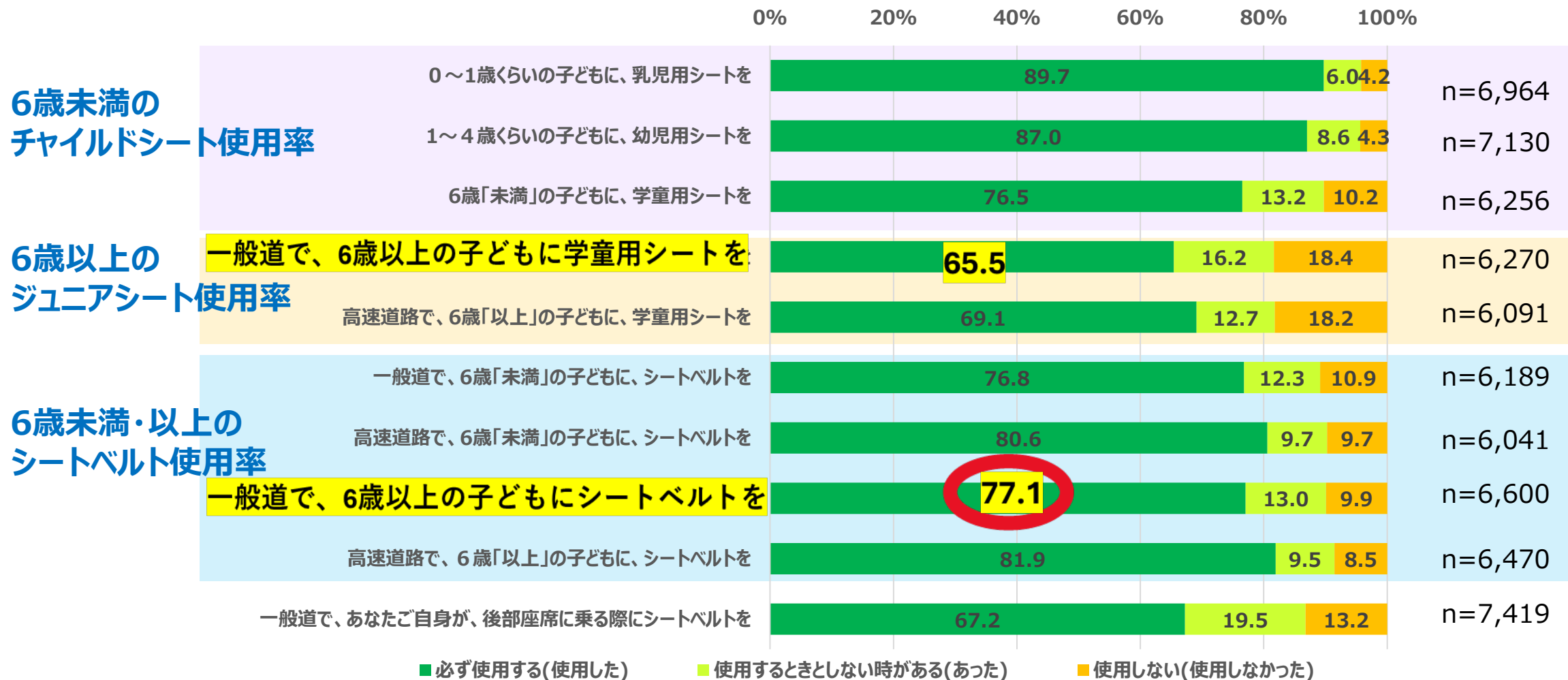
インターネットによるアンケート全国調査を実施  
実施日：2025年6月12日~13日

小学生以下の子どもを持つ保護者 **10000**人  
子どもを持たない人 **3000**人

## 情報に関する調査項目

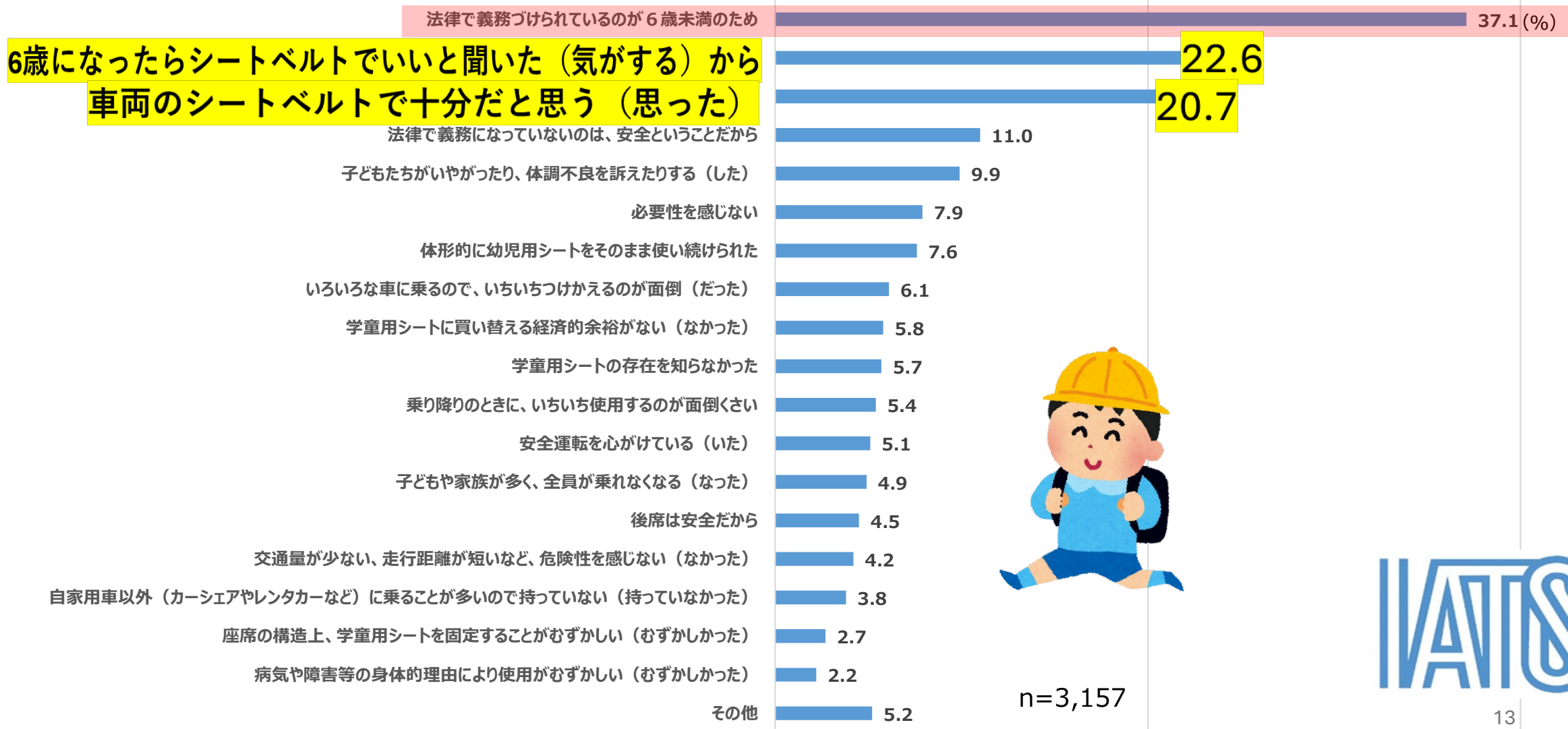
- ・交通安全情報、子どもに関する一般的な情報の入手先
- ・信頼度
- ・調べるきっかけ
- ・ポスター掲示に於いて有効な場所
- ・子どもの安全意識は、どの年齢層から期待できるか

# 自家用車でのチャイルドシート使用状況



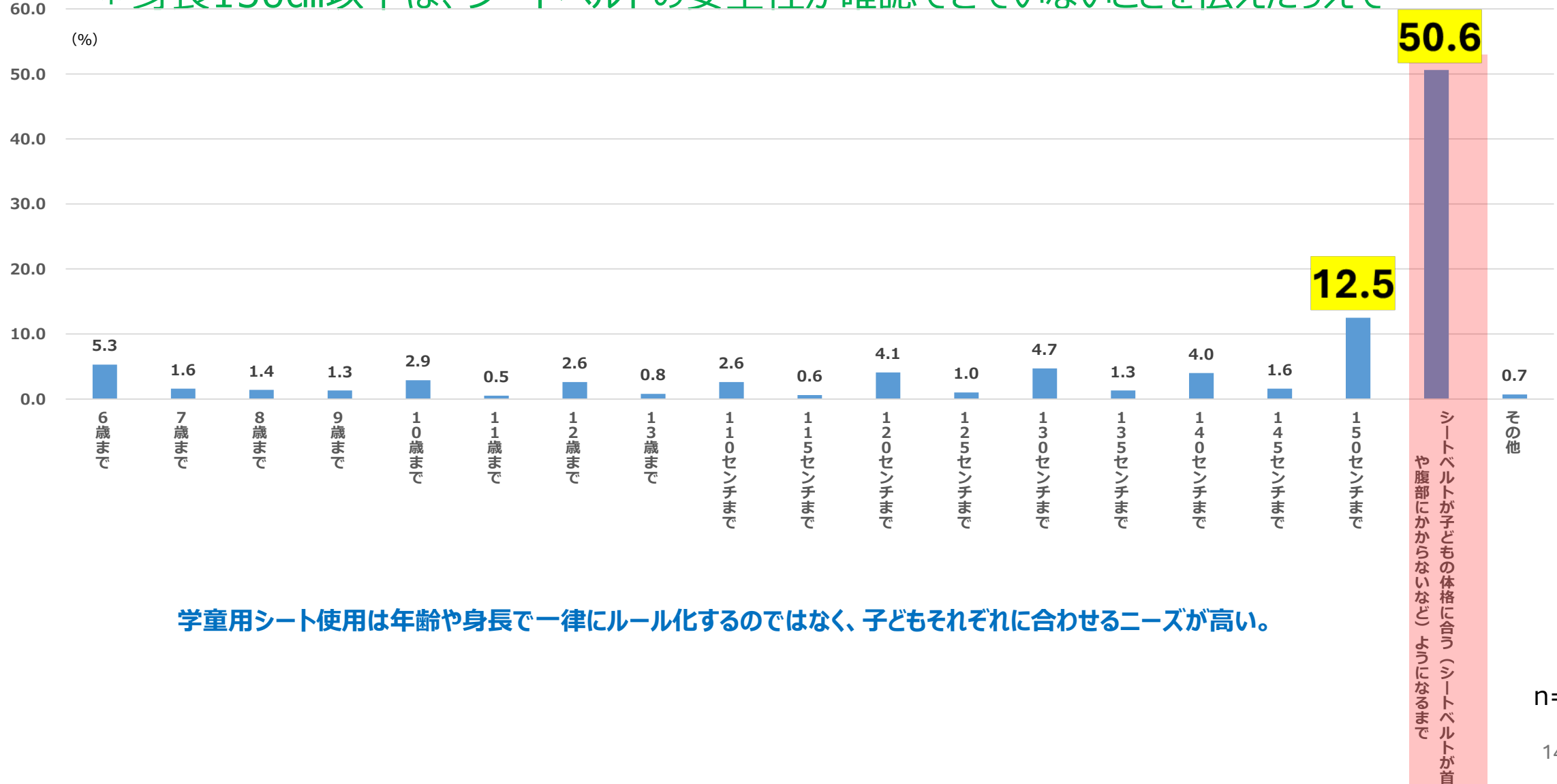
# <6歳以上不使用者> 6歳以上の子どもにジュニアシートを使用しない（しなかった）理由 <複数回答>

6歳以上のジュニアシート使用は義務ではないとの認識から不使用という声が多い。シートベルト過信も。 20.0 40.0



シートベルトを適切に使えるようにするジュニアシートは、  
いつごろまで使用するのが望ましいと思うか

\* 身長150cm以下は、シートベルトの安全性が確認できていないことを伝えたくて



学童用シート使用は年齢や身長で一律にルール化するのではなく、子どもそれぞれに合わせるニーズが高い。

n=13,000

# 子どもに対するリスク意識とチャイルドシート使用 (乳児用・幼児用・学童用シート)



いずれのケースでも、子どもに対するリスク意識が高い人ではチャイルドシート使用率が顕著に高い。

特に6歳「未満」の子どもにおけるジュニアシート使用に影響している可能性がある。

(単位：%)

	子どもの事故やケガの防止について、気を配っている (いた)		子どもの健康や衛生面について、気を配っている (いた)		幼い子どもには、窒息のリスクを考えて食べるものの形や大きさに気を配っている (気を配っていた)		子どもの治安面での安全について、気を配っている (いた)		道路の歩行や自転車使用など、子どもに交通安全について教えている (いた)		自分が子どもと一緒に車に乗る際は、常に子どもの安全に気を配っている (いた)		子どもと交通安全や事故の危険性について話をする (あった)		自分は親や周囲から交通安全や事故の危険性について教えられた		自分、もしくは身近な人が交通事故にあったことがある		自分よりも、子どもの方が乗車時の安全意識が高いと思う (あった)	
	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no	yes	no
0～1歳くらいの子どもの、乳児用シートを	92.6	70.2	92.2	74.5	92.1	74.1	92.5	73.4	92.2	75.4	92.4	73.4	92.4	76.8	92.3	80.2	91.7	86.6	91.7	86.2
1～4歳くらいの子どもの、幼児用シートを	90.4	65.6	89.8	70.2	89.7	70.2	90.2	68.0	90.2	67.5	90.3	67.4	90.2	70.8	90.0	75.9	89.0	84.0	89.5	83.0
6歳「未満」の子どもの、学童用シートを	80.0	54.6	79.4	59.2	79.5	58.2	80.0	56.2	80.1	54.9	80.1	56.4	80.1	56.9	80.1	63.6	79.7	71.5	81.2	69.1

\*「必ず使用する (使用した)」とした人の割合 (%)

n=10,000

# 自身の後部座席乗車時シートベルト使用と子どもへのCRS使用状況 (自家用車以外で)



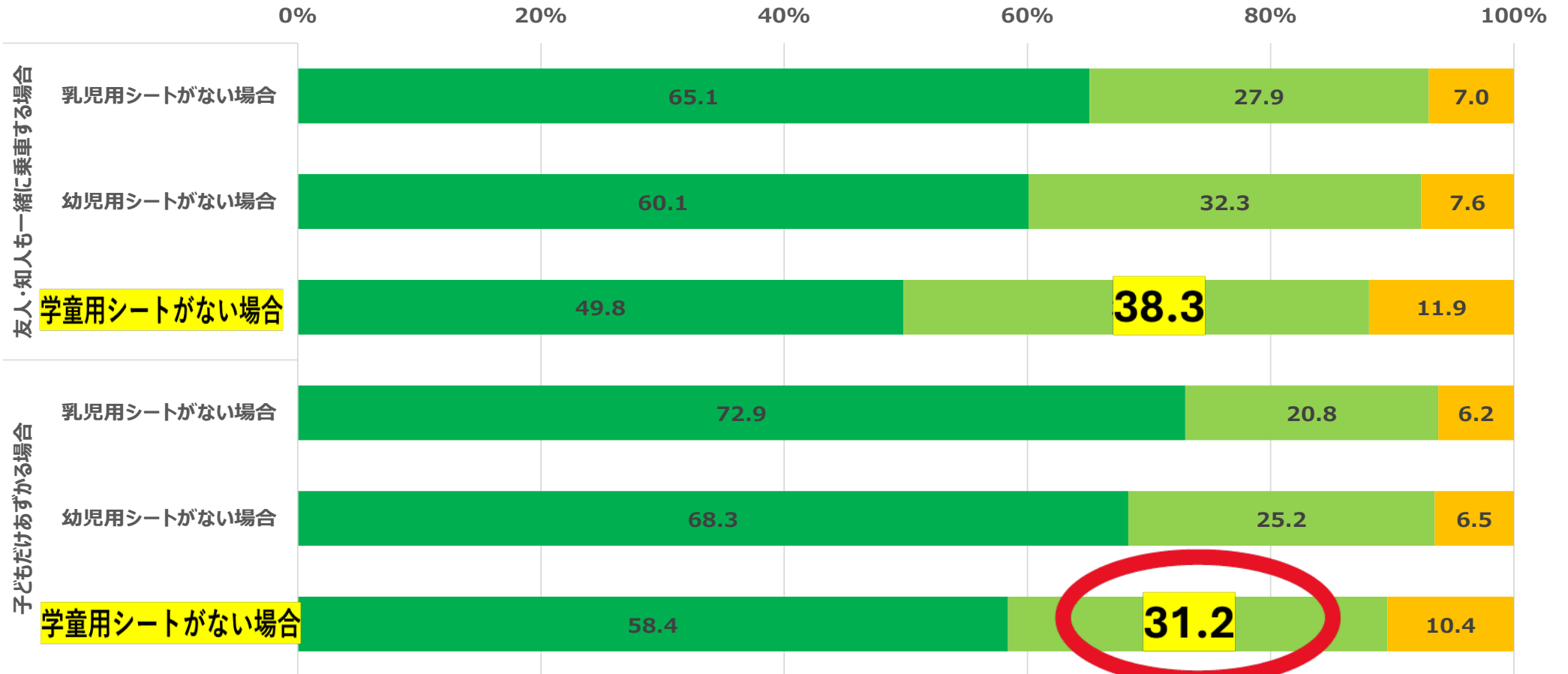
- 後部座席でシートベルトをするという人はCRSの使用率が高い

		保護者本人が、後部座席でシートベルトをしているか		
		必ず使用する (使用した)	使用するときとしない時がある (あった)	使用しない (使用しなかった)
必ず使用 する とした 割合	0～1歳くらいの子どもに、乳児用シートを	90.3%	61.2%	41.2%
	1～4歳くらいの子どもに、幼児用シートを	89.2%	55.5%	39.5%
	6歳「未満」の子どもに、学童用シートを	83.6%	41.7%	22.1%
	一般道で、6歳「以上」の子どもに、学童用シートを	78.7%	30.6%	13.0%
	高速道路で、6歳「以上」の子どもに、学童用シートを	81.3%	36.3%	14.9%
	一般道で、6歳「未満」の子どもに、シートベルトを	89.3%	35.3%	16.6%
	高速道路で、6歳「未満」の子どもに、シートベルトを	91.2%	41.6%	20.4%
	一般道で、6歳「以上」の子どもに、シートベルトを	91.8%	33.0%	16.8%
	高速道路で、6歳「以上」の子どもに、シートベルトを	93.3%	42.8%	22.7%

自分が運転する車に、チャイルドシート（乳児用、幼児用、学童用）がないとき、友人や知人から彼らの子どもを乗せてほしいと頼まれた際の対応。



乳児用シートがない場合は断るケースが多いものの、ジュニアシートについてはなくとも載せてしまうケースが多い。



有免許者  
n=11,394

■ 断る・乗せない

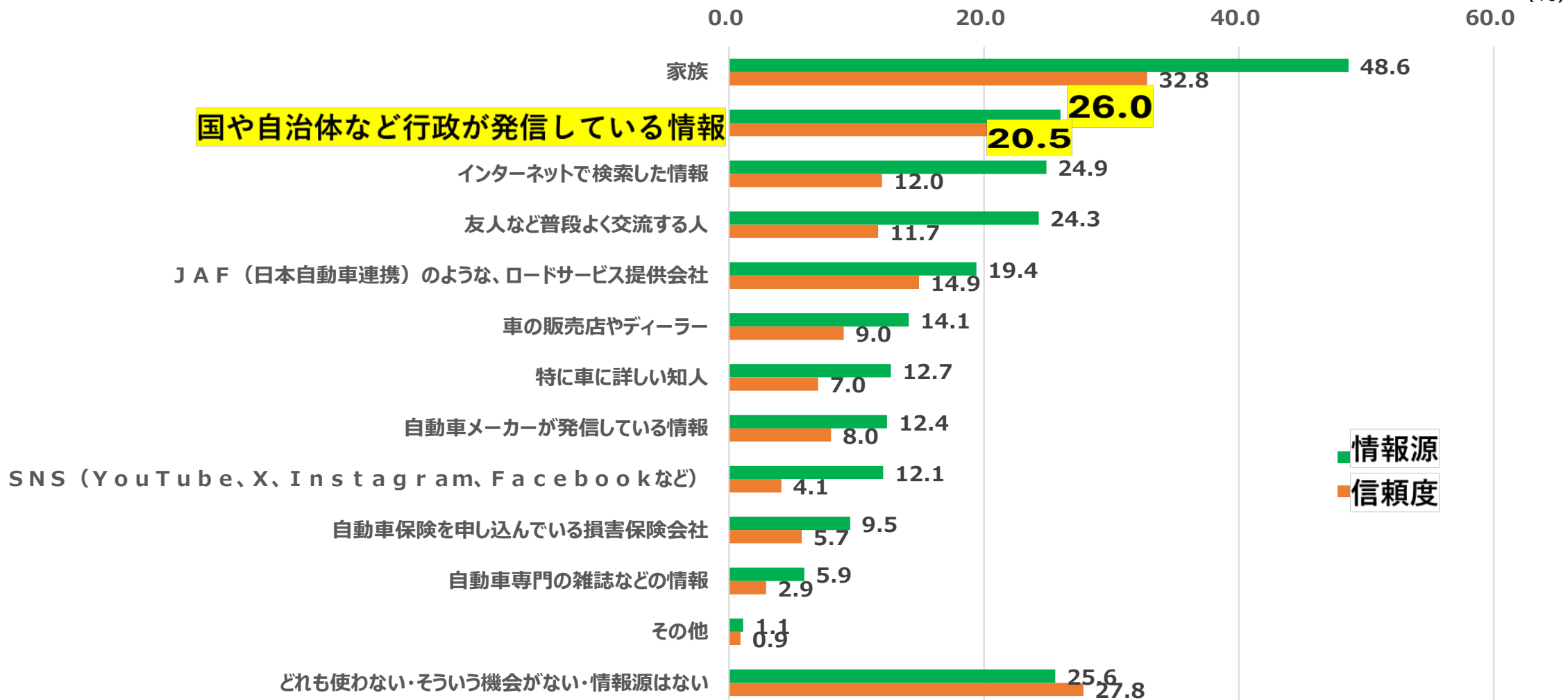
■ 断りたいが、仕方なく乗せることが多い

■ 気にせずに乗せる

# 車の運転や乗車時の安全に関する情報源・信頼できると思う情報源 <複数回答>



家族に次ぐ情報源であり、家族の次に信頼性が高いのが「国や自治体など行政が発信している情報」(%)

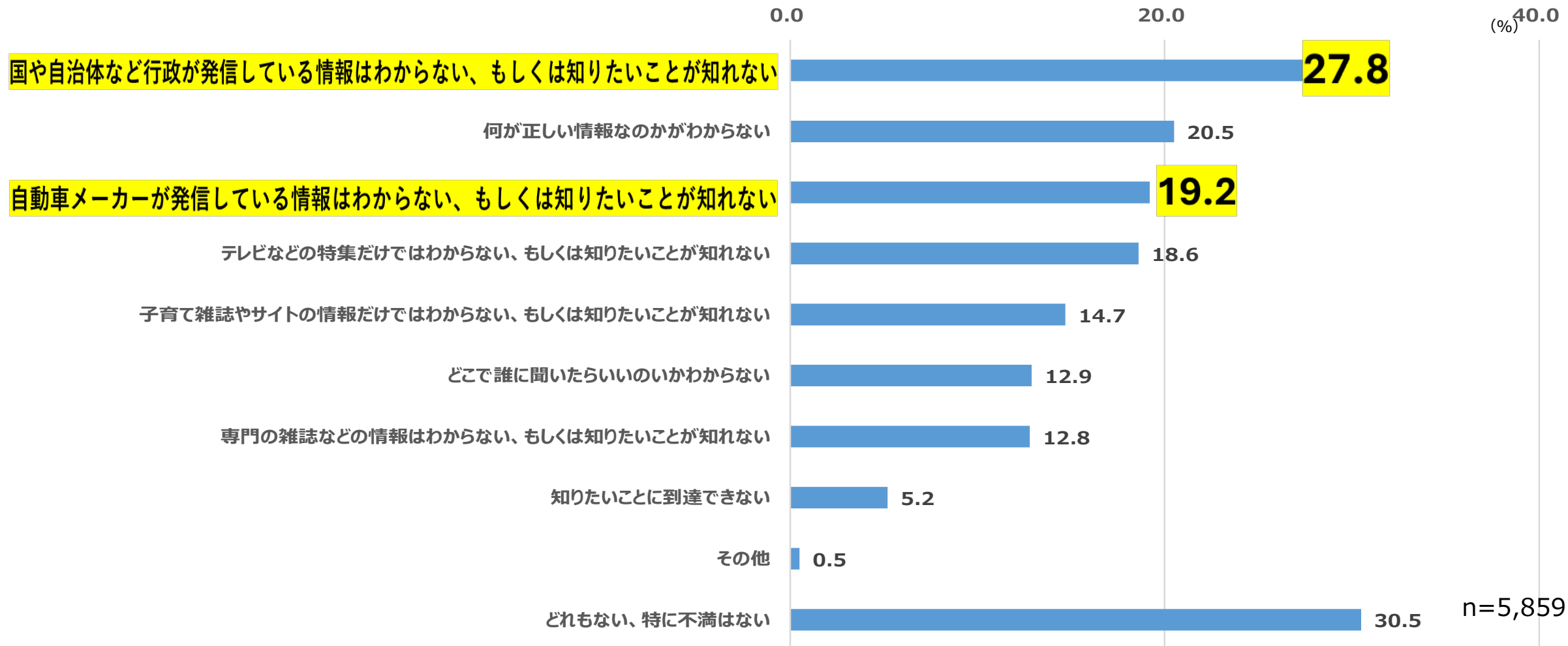


n=13,000

# チャイルドシート（乳児用、幼児用、学童用）について調べた際の不満 ＜複数回答＞



不満内容は「行政が発信している情報はわからない、もしくは知りたいことが知れない」とする人が最多。



n=5,859

# チャイルドシート（幼児用、乳児用、学童用）の情報収集 （チャイルドシートの選び方や着脱の方法、安全性など）を行うタイミング

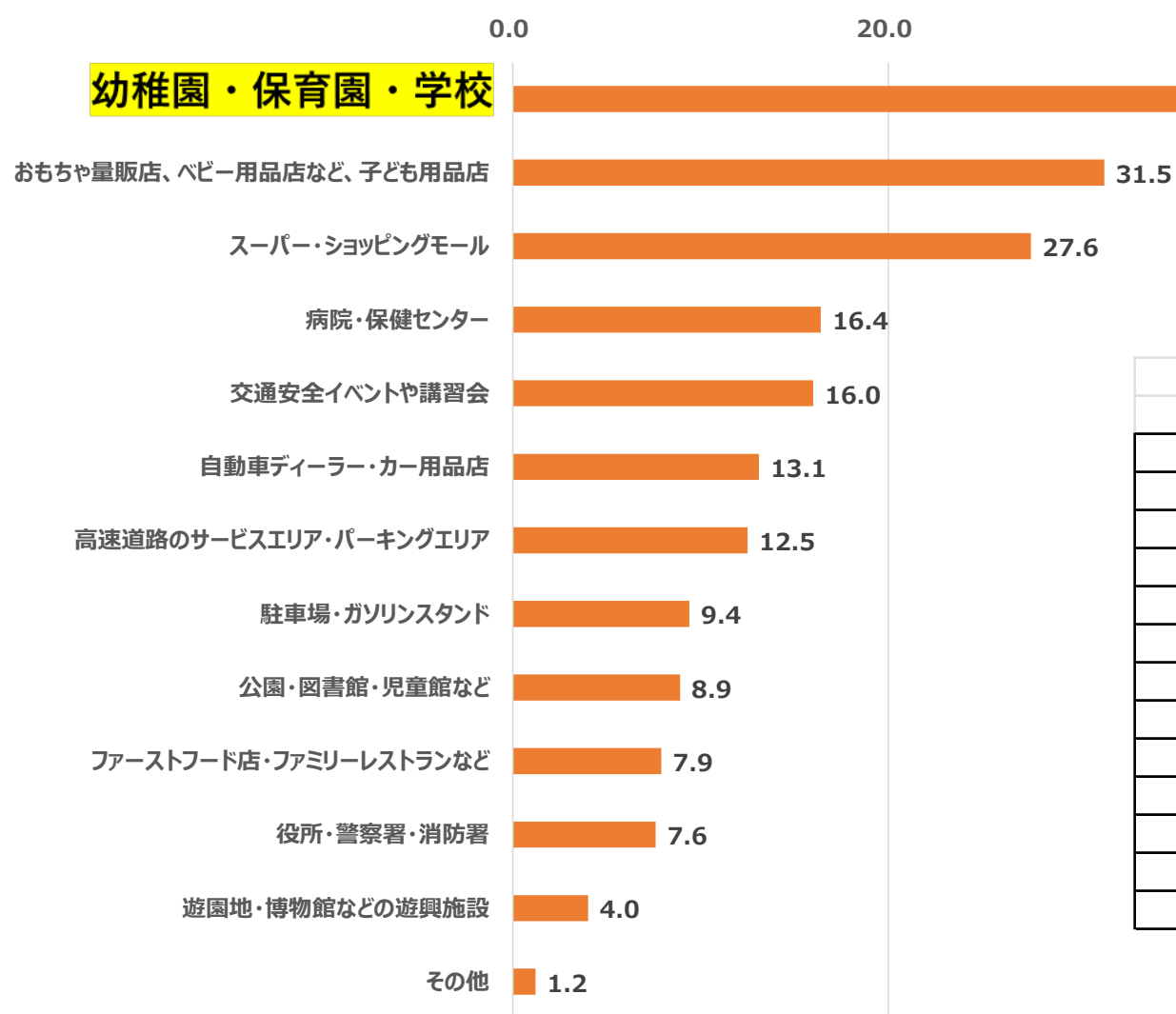
＜複数回答＞

情報収集のタイミングとして最多なのは「子どもの交通事故のニュースを見聞きしたとき」。



# ポスター掲示において特に効果的だと思う場所 <最もあてはまるもの3つ>

「幼稚園・保育園・学校」での交通安全教育が効果的か。「子ども用品店」や「スーパー・ショッピングモール」も。



(単位：%)

	子どもいる		子どもいない	
	男性	女性	男性	女性
幼稚園・保育園・学校	46.7	48.3	37.9	41.7
おもちゃ量販店、ベビー用品店など、子ども用品店	34.0	35.1	20.4	22.3
スーパー・ショッピングモール	28.8	25.8	28.1	28.3
病院・保健センター	13.9	19.5	14.2	18.0
交通安全イベントや講習会	14.1	14.4	23.0	20.8
自動車ディーラー・カー用品店	12.8	11.8	16.9	13.6
高速道路のサービスエリア・パーキングエリア	12.8	11.4	14.9	12.0
駐車場・ガソリンスタンド	7.3	7.8	15.5	15.5
公園・図書館・児童館など	8.4	9.5	8.0	10.3
ファーストフード店・ファミリーレストランなど	7.9	6.7	10.0	9.5
役所・警察署・消防署	7.3	7.4	9.4	7.8
遊園地・博物館などの遊興施設	4.2	3.1	5.7	4.4
その他	0.6	0.6	3.0	2.8

子どもの安全意識はどの年齢層で期待できるのか  
 子どもが小さい頃の方が子どもの安全意識が高いケースも。

特に女兒では幼児期から小学校低学年くらいで安全意識が高い傾向がある。  
 男児は小1と高学年で安全意識が多い。



		息子1の年齢									娘1の年齢								
		0～3歳 未満	3歳から 小学校入 学前	小学1年 生	小学2年 生	小学3年 生	小学4年 生	小学5年 生	小学6年 生	それ以上	0～3歳 未満	3歳から 小学校入 学前	小学1年 生	小学2年 生	小学3年 生	小学4年 生	小学5年 生	小学6年 生	それ以上
自分よりも、子どもの方が乗車時の安全意識が高いと思うことがある(あった)	あてはまる	27.0%	27.4%	26.9%	26.0%	23.8%	26.4%	28.0%	25.4%	23.0%	24.0%	28.2%	29.4%	27.3%	27.1%	25.5%	24.3%	26.9%	23.7%
	どちらかといえばあてはまる	27.8%	27.9%	31.4%	28.3%	30.1%	31.2%	29.6%	31.4%	30.1%	28.7%	30.0%	29.4%	30.8%	31.6%	29.3%	32.4%	30.0%	30.3%
	どちらかといえばあてはまらない	16.9%	24.1%	25.6%	26.4%	26.7%	25.2%	22.7%	27.4%	26.9%	16.8%	21.9%	22.8%	24.2%	25.5%	27.6%	25.8%	27.2%	26.9%
	あてはまらない	17.1%	17.2%	13.2%	17.3%	16.1%	14.5%	15.0%	12.5%	17.3%	19.9%	16.6%	15.0%	14.5%	12.7%	14.3%	16.6%	12.7%	16.2%
	そういう機会がない	11.3%	3.4%	3.0%	2.0%	3.4%	2.7%	4.8%	3.4%	2.7%	10.7%	3.4%	3.3%	3.3%	3.1%	3.3%	1.0%	3.2%	2.9%
	「あてはまる」の合計値	54.7%	55.3%	58.3%	54.3%	53.8%	57.6%	57.6%	56.7%	53.1%	52.7%	58.2%	58.9%	58.0%	58.7%	54.8%	56.6%	56.9%	54.0%

# ヒアリング

- ① **ブリティッシュコロンビア大学教授 イアン・パイク氏**
- ② **東京都市大学教授 奥村倫弘氏**
- ③ **日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 本村友一医師**
- ④ **チャイルドシート・ラボ 僧都昌弘氏**

# ブリティッシュコロンビア大学教授 イアン・パイク氏

子どもの不慮の事故を防ぐ、傷害予防の世界的権威。

警察庁科学警察研究所やJAF、ITARDAなどと協力し、チャイルドシートの普及を目的としたソーシャルマーケティング・キャンペーンの有効性評価を行う。



# ポスター戦略

---

**1** 情報伝達は、マーケティングと同じである

---

**2** 繰り返し見せて、刷り込んでいく

---

**3** さまざまなタッチポイントで、同じ情報であることが大事

---

**4** ただし、一気に多くの機会で見ると、嫌われる  
ここでの、微妙なバランスをとることが、大切

# 東京都市大学 メディア情報学部教授



## 奥村倫弘氏

読売新聞 記者

Yahoo!ニュース・トピックス 編集長

インターネットメディア The page 編集長



奥村倫弘



メッセージ

教育業界で教授をしています



# 情報伝達の在り方

- 1** 公的機関のオウンドメディアは、正確性が大切  
一次情報としての機能を果たすべき
- 2** アクセス数至上主義は捨てる  
そもそもAIOverviewの時代は、サイトまで来ない
- 3** AIが読みやすいサイト作りが必須。  
PDFを貼り付けるのはNG。HTML方式にする。
- 4** アップデートは常に  
行う。古い情報をAIが拾わないため
- 5** ユーザーが使うからといって、SNSで一瞬、バズるだけではだめ。多くの人が、  
広く、何度も目にふれるような企画を考えるほうがよい

# 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター

本村友一医師



IATSS

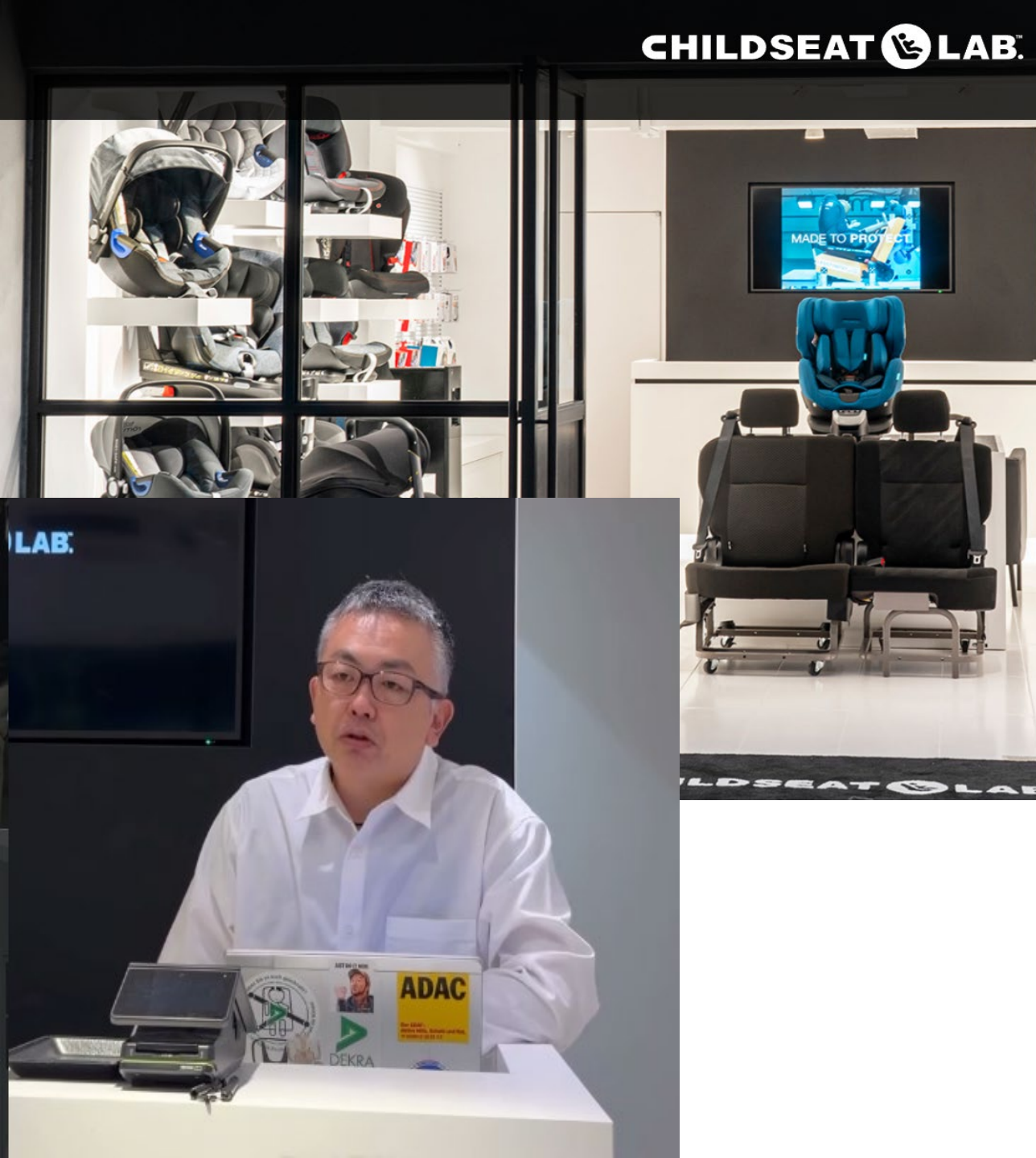


こどもQQ

vol.660

# 救命救急の現場から

- 1 ドライバーが子どもを膝に乗せる。後部座席の二人の子どもに、ひとつのシートベルトをかける例は、未だにいる
- 2 シートベルトによる内臓損傷は多い。また、首にかかれば頸髄損傷=即死を引き起こす
- 3 シートベルトはしないほうが良いという乱暴な意見も散見するが、なにもしないで衝突した場合、前席の背もたれや、天井に頭部から打ち付けられる。事故後の車両検証で、天井から小児の頭髪が見つかることがある
- 4 頭部に強い衝撃がある場合、頭蓋骨骨折だけでなく脳が激しくゆさぶられる。感情障害、記憶障害といった障害が残ることがある。本人、保護者、患児きょうだいの生活が大きく変わることになる。
- 5 シートベルト、CRS（ジュニアシート含む）は安全装置。適切な使用啓発が急務。



## チャイルドシート・ラボ

僧都昌弘氏

# 販売店。最前線の現場から

- 1** 出産時に伝えるという考え方が多いが、**出産前後は、乳児と母体、めまぐるしく変わる生活でいっぱい、チャイルドシートまで覚えきらない人が多い**
- 2** 量販店で販売はするが、使い方まで教えない。責任問題が発生するため、車両の取り付けまでは行っていない。正しく使えているかどうかは、だれも確認しない
- 3** 子どもが**成長するにつれ、チャイルドシートの調整も必要**だが、それを**学ぶ場がほとんどない**。乳児用クッションや、購入時のヘッドレストの高さのまま使用している人は多い
- 4** 安全意識に、男女の差、収入の差はない
- 5** CRSをいやがるのは、親の乗せ方にも問題があるのではないか。「いいから座りなさい」と叱るように座らせることが多く、子どもは、CRS=叱られるものと感じてしまう。

# キーワード

- ① 統一
- ② 最新の正確な情報
- ③ 繰り返し

# 視察



- ① J A F 「チャイルドシート使用啓発キャンペーン」  
イオンモール水戸内原メインコート（水戸市）

2025.4.2

- ②警察庁／J A F チャイルドシート使用率合同調査

・宮城県 @ララガーデン長町（仙台市） 2025.5.10

・東京都 @葛西臨海公園駐車場（江戸川区） 2025.6.14

# J A F 「チャイルドシート使用啓発キャンペーン」 @イオンモール水戸内原メインコート（水戸市）



# 警察庁／J A F チャイルドシート使用率合同調査

・宮城県 @ララガーデン長町（仙台市）

・東京都 @葛西臨海公園駐車場（江戸川区）

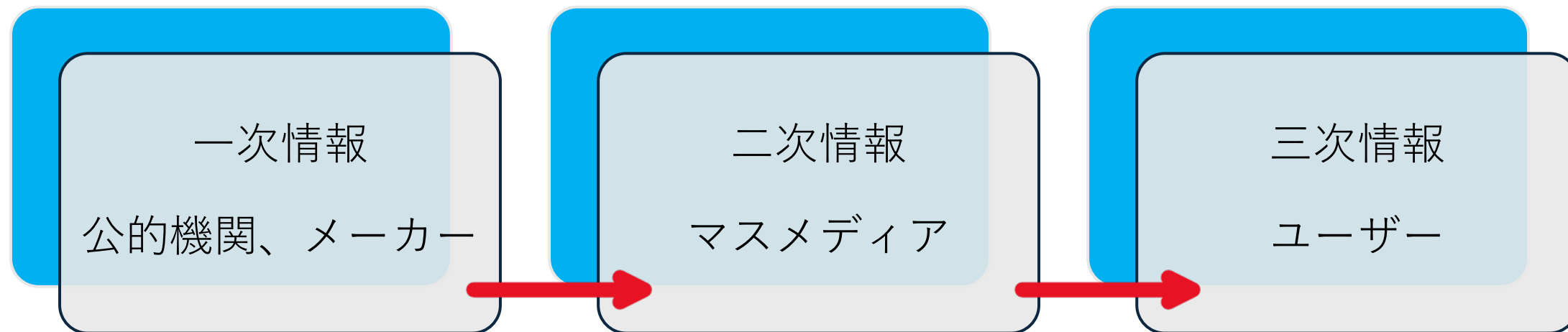


# キーワード

- ① 統一された
- ② 最新の正確な情報を
- ③ 繰り返し見せる

\*インターネット上では、  
AIがまとめる上でも重要

あるべき情報伝達の流れは、今も変わらない。



開催報告：公開シンポジウム

# SNSとAI時代に いかに安全情報を 届けるか

チャイルドシートの使用実態と情報発信の課題

背景：福岡での姉妹死傷事故（7歳・5歳）を契機に発足。  
シートベルトで安全だと誤解して起きる悲劇を繰り返さないために。

👥参加者：現地38名 / リモート44名



参加  
無料

日時 2025年11月27日（木）

16:00～17:30(開場15:30)

会場 日本自動車会館 くるまプラザ内  
第1～3会議室+Zoom (ハイブリッド)  
東京都港区芝大門1丁目1-30 芝NBFタワー1階

お申込み  
はこちら



🔍 IATSS シンポジウム

## プログラム

- ①ジュニアシート使用状況調査結果報告  
第一生命経済研究所 首席研究員 宮木由貴子
- ②安全情報はネコと争ってはいけない  
モータージャーナリスト 岩貞みこ
- ③CRS使用率向上に向けたJAFの取組み  
JAF交通環境部調査研究課 課長 丹野祥孝
- ④CRS使用率向上のための行動変容をいかにうながすか  
東北公益文科大学 学長・教授 神田直弥
- ⑤パネルディスカッション

# 日本自動車会館





# 主な参加者



内閣府、警察庁、国交省、こども家庭庁、消費者庁、交通安全環境研究所  
自動車安全運転センター、東京消防庁、整備振興連合会

トヨタ、日産、ホンダ、マツダ、スズキ、コンビ  
自動車工業会、CRS販売店、JAF ITARDA

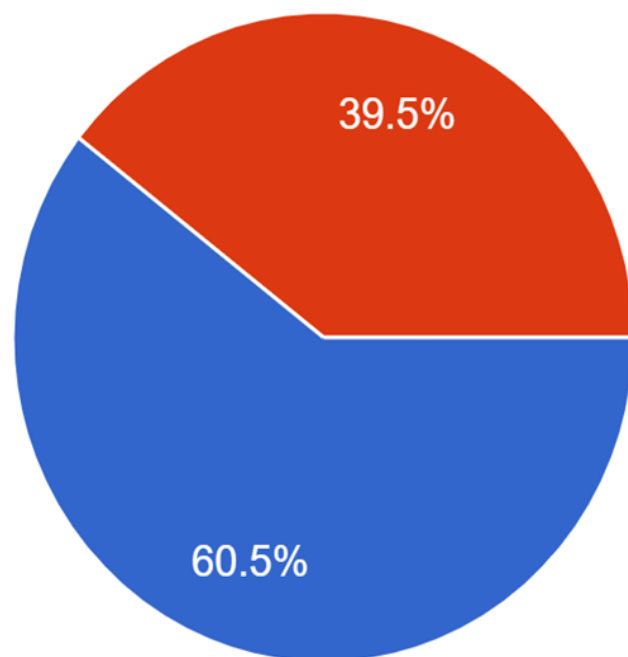
医療従事者

NHK、朝日新聞、大分合同新聞社、交通ジャーナル、ジャーナリスト  
など。

# シンポジウム後 参加者アンケート

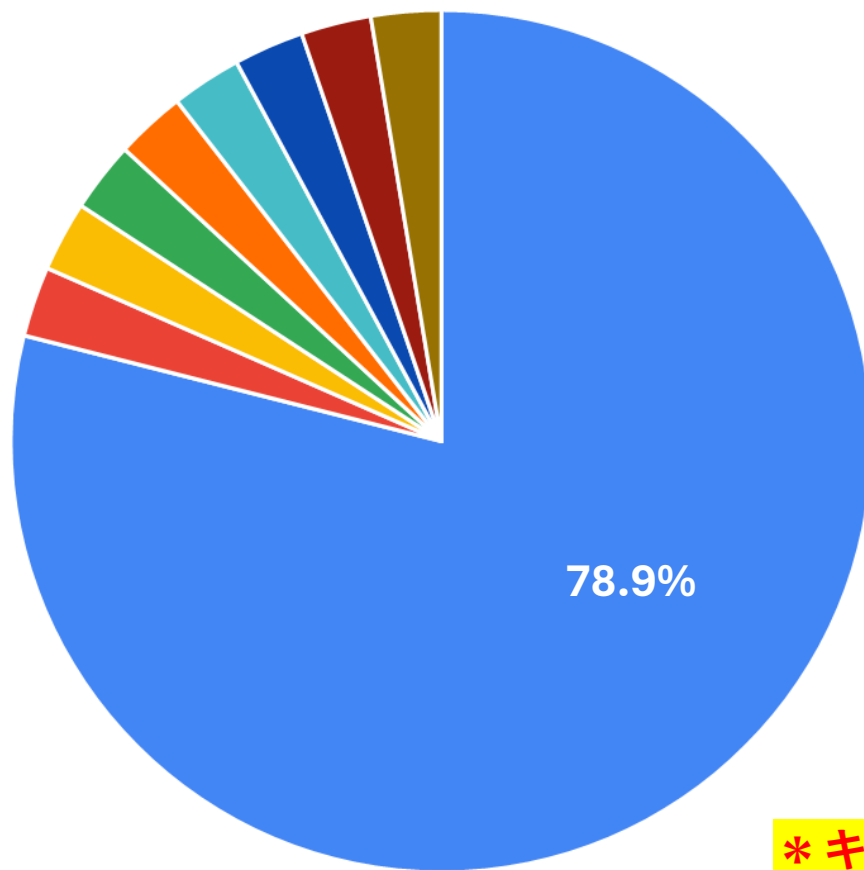
今後のご自身の活動の参考になりましたか？

38 件の回答



- 大変なつた
- 多少なつた
- あまりならなかつた
- 全くならなかつた

6歳以上の子どもに使用が推奨されているジュニアシートは、いつまで必要だと思いますか。  
38件の回答



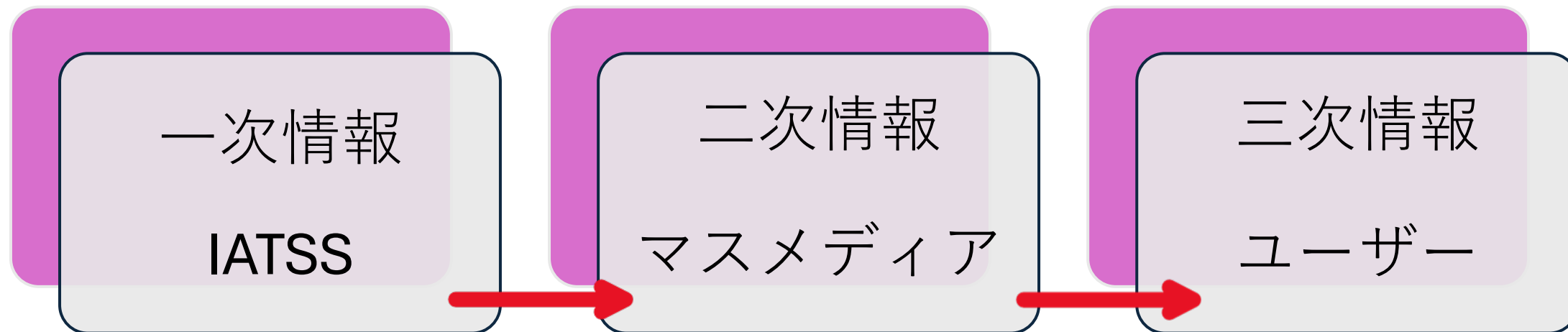
- 身長150cmまで
- 12歳まで
- 150センチが良いとは思いますが、学校年次の方がわかりやすいのであれば小学校までというのもわかりやすいかと思いました。
- シートベルト着用基準に達するまで
- 腰骨にラップベルトが掛かるまで（大人の骨格であれば、150cm以下での問題ないため、正しい情報を伝える必要がある）
- 子どもの体格が大きくなるまで
- 他人の子供を乗せることも考えればキッズベルトも有効と考える
- 体格にあわせて
- 年齢や身長だけでなく、シートベルトで安全に拘束できるようになるまで

**\*キッズベルトは、現在の安全基準を満たしていないうえ、適切な使用が非常にむずかしいため、絶対に推奨しません。**

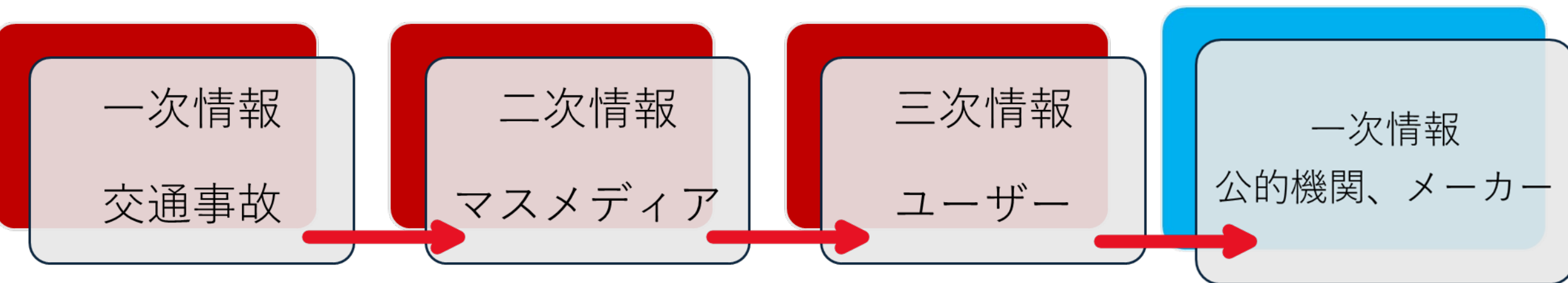
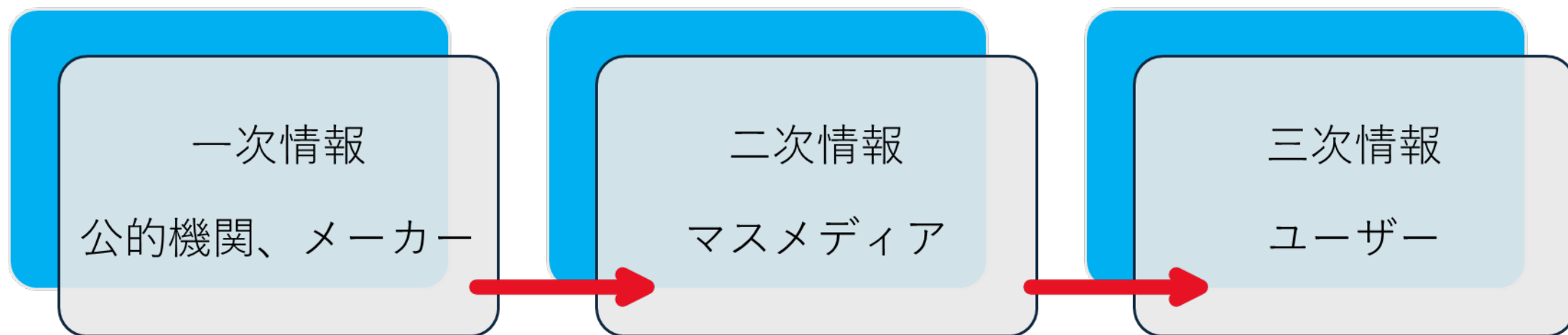
# シンポジウム後の報道

- ① NHK おはようニッポン（関東甲信越）  
2025年11月28日 7時45分～
  
- ② Yahoo!コメント 4歳女児車外放出事故を受けて  
ノンフィクション作家・ジャーナリスト 柳原美佳氏  
2025年11月28日
  
- ③ 朝日新聞  
2026年2月3日 本紙、インターネット版 ほか

信頼されるところから  
正確で最新の一次情報を発信する



ユーザーが、いつ確認しにいつでも、正しい情報を得られる情報提供体制を整える。



# 来期の研究テーマ

- ジュニアシートを使う小学生に、直接アプローチをはかる
- 自分で自分のことを、考えて守れる年齢
- ジュニアシートは、させられる、ではなく、自らするへ

ジュニアシートの常識を変え、  
クルマ好きのリーダー的子どもたちに、  
インフルエンサーになってもらい、使用率を上げていく。



公益財団法人 国際交通安全学会

International Association of Traffic and Safety Sciences